

# 環境活動レポート

2011年度版

(2011年1月から2011年12月まで)



株式会社 アサヒリソース  
発行 2012年6月20日

## 会社概要

1. 商号 株式会社 アサヒリソース
- 代表者 代表取締役 藤田 幸男  
役員 専務取締役 安藤 哲也
2. 所在地 本 社： 〒239-0316  
神奈川県横須賀市久里浜2丁目25番9-405号  
(本社登録のみ：業務に使用せず)
- 営業所： 〒238-0316 (業務執行場所)  
神奈川県横須賀市長井5丁目31番23号  
TEL 046-847-1366  
FAX 046-848-0366  
床面積 71.21m<sup>2</sup>
- 作業所： 〒239-0843  
神奈川県横須賀市津久井2丁目1002番  
敷地 コンクリート床 330.57m<sup>2</sup>  
アルミ定置型坩堝炉 4.06m<sup>3</sup>  
液物タンク 危険物(灯油) 0.225m<sup>3</sup>
- 倉庫： 〒238-0114  
神奈川県三浦市初声町和田1753番2  
敷地 コンクリート床 373.00m<sup>2</sup>  
倉庫 コンクリート床 43.06m<sup>2</sup>
3. 設立 平成 元年 5月 15日
4. 資本金 540万円
5. 従業員数 9名

## 6. 施設の概要

### 1) 車 両

普通貨物	自家用	ロ ン グ	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
小型貨物	自家用	ダ ン プ	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
普通貨物	自家用	ダ ン プ	最大積載量	3,000 kg	運搬品目	別記
普通特殊	自家用	塵 芥 車	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
普通貨物	事業用	バ ン	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
軽貨物	自家用	ダ ン プ	最大積載量	350 kg	運搬品目	別記
小型特殊	自家用	フォークリフト	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
小型特殊	自家用	フォークリフト	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記

### 2) 施 設

軽合金坩堝炉	炉形式	S E P-200
30 トンプレス機	形 式	S N P-30
8 トンプレス機	形 式	5 0 - 5 0 0
2 軸 破 碎 機	形 式	V 6-228 K

### 環境保全対策

収集運搬容器は飛散・流出しないよう密閉ドラム及びポリタンクを使用  
 ロープ・シート・ネットの使用により固形廃棄物の散乱に対処  
 悪臭・振動・騒音など生活環境保全上支障がないような措置を行う

## 7. 運搬品目及び取扱処理料

平成23年

1月

行政資源回収		産業廃棄物		一般廃棄物	
新聞	68,395 kg	混合	2,270 kg	燃せるゴミ	370 kg
段ボール	32,523 kg	紙くず	0 kg	容器包装	170 kg
雑誌	35,495 kg	廃プラスチック	0 m <sup>3</sup>	不燃ごみ	730 kg
ボロ	12,185 kg	がれき	0 kg	紙類※	500 kg
一升瓶	0 kg	金属くず	0 kg	金属類※	200 kg
ビール瓶	0 kg			缶ビンペットボトル※	0 kg
P箱	0 kg				
アルミニウム	407 kg				
鉄	4,480 kg				

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

## 2月

行政資源回収	
新聞	75,135 kg
段ボール	27,467 kg
雑誌	36,095 kg
ボロ	10,795 kg
一升瓶	28 kg
ビール瓶	12 kg
P箱	0 kg
アルミニウム	522 kg
鉄	5290 kg

産業廃棄物	
混合	0 kg
紙くず	0 kg
廃プラスチック	0 m <sup>3</sup>
がれき	0 kg
金属くず	0 kg

一般廃棄物	
燃せるゴミ	190 kg
容器包装	100 kg
不燃ごみ	0 kg
紙類※	500 kg
金属類※	200 kg
缶ビンペットボトル※	0 kg

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

## 3月

行政資源回収	
新聞	71,830 kg
段ボール	24,898 kg
雑誌	41,765 kg
ボロ	11,065 kg
一升瓶	8 kg
ビール瓶	3 kg
P箱	0 kg
アルミニウム	515 kg
鉄	6080 kg

産業廃棄物	
混合	1,880 kg
紙くず	490 kg
廃プラスチック	0.8 m <sup>3</sup>
がれき	0 kg
金属くず	0 kg

一般廃棄物	
燃せるゴミ	240 kg
容器包装	120 kg
不燃ごみ	410 kg
紙類※	500 kg
金属類※	200 kg
缶ビンペットボトル※	0 kg

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

## 4月

行政資源回収	
新聞	61,215 kg
段ボール	25,670 kg
雑誌	44,850 kg
ボロ	13,365 kg
一升瓶	2 kg
ビール瓶	0 kg
P箱	0 kg
アルミニウム	596 kg
鉄	5,960 kg

産業廃棄物	
混合	2,200 kg
紙くず	0 kg
廃プラスチック	0.3 m <sup>3</sup>
がれき	0 kg
金属くず	0 kg

一般廃棄物	
燃せるゴミ	700 kg
容器包装	0 kg
不燃ごみ	410 kg
紙類※	580 kg
金属類※	200 kg
缶ビンペットボトル※	0 kg

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

## 5月

行政資源回収	
新聞	74,425 kg
段ボール	29,582 kg
雑誌	43,595 kg
ボロ	26,290 kg
一升瓶	9 kg
ビール瓶	0 kg
P箱	0 kg
アルミニウム	572 kg
鉄	6,220 kg

産業廃棄物	
混合	820 kg
紙くず	0 kg
廃プラスチック	20 kg
がれき	0 kg
金属くず	0 kg

一般廃棄物	
燃せるゴミ	1,630 kg
容器包装	170 kg
不燃ごみ	0 kg
紙類※	500 kg
金属類※	200 kg
缶ビンペットボトル※	0 kg

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

## 6月

行政資源回収	
新聞	77,825 kg
段ボール	27,224 kg
雑誌	41,225 kg
ボロ	19,745 kg
一升瓶	20 kg
ビール瓶	30 kg
P箱	1 kg
アルミニウム	525 kg
鉄	5,880 kg

産業廃棄物	
混合	2,180 kg
紙くず	0 kg
廃プラスチック	20 kg
がれき	0 kg
金属くず	0 kg

一般廃棄物	
燃せるゴミ	570 kg
容器包装	270 kg
不燃ごみ	0 kg
紙類※	500 kg
金属類※	200 kg
缶ビンペットボトル※	0 kg

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

## 7月

行政資源回収	
新聞	76,130 kg
段ボール	27,843 kg
雑誌	40,615 kg
ボロ	18,600 kg
一升瓶	2 kg
ビール瓶	0 kg
P箱	0 kg
アルミニウム	511 kg
鉄	5,980 kg

産業廃棄物	
混合	550 kg
紙くず	0 kg
廃プラスチック	10 kg
がれき	0 kg
金属くず	0 kg

一般廃棄物	
燃せるゴミ	430 kg
容器包装	50 kg
不燃ごみ	410 kg
紙類※	500 kg
金属類※	200 kg
缶ビンペットボトル※	0 kg

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

## 8月

行政資源回収	
新聞	59,300 kg
段ボール	23,662 kg
雑誌	30,760 kg
ボロ	10,740 kg
一升瓶	14 kg
ビール瓶	69 kg
P箱	3 kg
アルミニウム	562 kg
鉄	6,510 kg

産業廃棄物	
混合	1,020 kg
紙くず	0 kg
廃プラスチック	10 kg
がれき	0 kg
金属くず	0 kg

一般廃棄物	
燃せるゴミ	410 kg
容器包装	250 kg
不燃ごみ	450 kg
紙類※	500 kg
金属類※	200 kg
缶ビンペットボトル※	0 kg

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

## 9月

行政資源回収	
新聞	51,005 kg
段ボール	30,150 kg
雑誌	3,8980 kg
ボロ	11,440 kg
一升瓶	0 kg
ビール瓶	0 kg
P箱	0 kg
アルミニウム	577 kg
鉄	5,920 kg

産業廃棄物	
混合	1,210 kg
紙くず	0 kg
廃プラスチック	10 kg
がれき	0 kg
金属くず	0 kg

一般廃棄物	
燃せるゴミ	350 kg
容器包装	100 kg
不燃ごみ	230 kg
紙類※	500 kg
金属類※	200 kg
缶ビンペットボトル※	0 kg

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

## 10月

行政資源回収	
新聞	6,404 kg
段ボール	26,428 kg
雑誌	35,896 kg
ボロ	19,751 kg
一升瓶	7 kg
ビール瓶	0 kg
P箱	0 kg
アルミニウム	610 kg
鉄	6,230 kg

産業廃棄物	
混合	1,900 kg
紙くず	0 kg
廃プラスチック	0 kg
がれき	0 kg
金属くず	0 kg

一般廃棄物	
燃せるゴミ	280 kg
容器包装	90 kg
不燃ごみ	320 kg
紙類※	500 kg
金属類※	200 kg
缶ビンペットボトル※	0 kg

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

11月

行政資源回収	
新聞	72,695 kg
段ボール	27,340 kg
雑誌	39,630 kg
ボロ	18,490 kg
一升瓶	10 kg
ビール瓶	1 kg
P箱	0 kg
アルミニウム	605 kg
鉄	8,015 kg

産業廃棄物	
混合	1,270 kg
紙くず	0 kg
廃プラスチック	10 kg
がれき	0 kg
金属くず	0 kg

一般廃棄物	
燃せるゴミ	570 kg
容器包装	100 kg
不燃ごみ	450 kg
紙類※	500 kg
金属類※	200 kg
缶ビンペットボトル※	0 kg

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

12月

行政資源回収	
新聞	88,450 kg
段ボール	33,695 kg
雑誌	49,790 kg
ボロ	20,615 kg
一升瓶	0 kg
ビール瓶	0 kg
P箱	0 kg
アルミニウム	673 kg
鉄	8,370 kg

産業廃棄物	
混合	1,070 kg
紙くず	0 kg
廃プラスチック	0 kg
がれき	0 kg
金属くず	800 kg

一般廃棄物	
燃せるゴミ	480 kg
容器包装	0 kg
不燃ごみ	290 kg
紙類※	500 kg
金属類※	200 kg
缶ビンペットボトル※	0 kg

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

## 8. 許可の内容

### 1) 産業廃棄物収集運搬業

市・県名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
神奈川県	1401110402	平成19年9月3日	平成24年9月2日

・事業の範囲 事業の区分

収集運搬(積替・保管を除く)

・産業廃棄物の種類

廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類

※営業の範囲は、横須賀市を除く神奈川県的区域。

※取り扱う産業廃棄物は、特別管理産業廃棄物であるものを除く。

市・県名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
横須賀市	第05810110402号	平成24年5月15日	平成29年5月14日

・事業の範囲 事業の区分

積み替え又は保管を含む

・産業廃棄物の種類

廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)

2) 一般廃棄物収集運搬業

市・県名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
横須賀市	第60号	平成24年6月15日	平成26年6月14日

・事業の範囲 事業の区分

積み替え又は保管を除く

・廃棄物の種類

一般廃棄物(ごみ)

9. 決算売上高 年1回 12月31日

2009年度 58,617千円

2010年度 68,789千円

2011年度 74,125千円

10. 収集運搬料金

基本料金 450袋1枚 380円

量、距離、種類によりますので、お問い合わせください。

046-847-1366 営業担当：宮川

11. 環境管理責任者 総責任者 安藤 哲也  
管理責任者 宮川 一喜

12. 認証対象範囲

1) 業務範囲

廃棄物収集運搬並びにアルミニウムインゴットの製造

2) 対象事業拠点

長井営業所 横須賀市長井5-31-23

津久井作業所 横須賀市津久井2-1002

初声倉庫 三浦市初声町和田1753-2



株式会社アサヒリソース 組織図

平成23年1月27日

代表取締役  
藤田 幸男

専務取締役(総務担当)	環境目標及び活動計画の策定
環境管理総責任者	環境活動レポートの作成
安藤 哲也	環境関連法規等の遵守評価

事務局(苦情受付窓口)	管理責任者の補佐業務
小野 南	環境文章及び記録の作成・管理

**第一事業部**  
一般・産業廃棄物収集運搬事業  
廃家電収集運搬事業  
土居 亜矢子  
林 知弘 坂田 直一  
環境担当者  
土居 亜矢子  
使用車両  
3 トンダンプ  
2 トンバントラック

**第二事業部**  
海外輸出関連事業  
アルミ 熔解事業  
宮川 一喜  
龍華 健人  
環境担当者  
龍華 健人  
使用車両  
軽ダンプ

**第三事業部**  
横須賀市町内会資源回収事業  
横須賀市資源回収協同組合事業  
藤田 幸男  
土屋 和己  
環境担当者  
藤田 幸男  
使用車両  
2 トンパッカー 2 トンロング  
2 トンダンプ

# 株式会社アサヒリソース 環境方針

## 基本理念

株式会社アサヒリソースは、当社の基幹業務である産業廃棄物及び一般廃棄物収集運搬・古紙鉄・非鉄金属リサイクルを通じて限りある天然資源の再資源化を目指すことによって、次世代に豊かで美しい地球を残すため地球環境保護に貢献いたします。

## 環境方針

- (1) 環境マネジメントシステムの構築と改善に取り組みます。
- (2) 環境関連の法令、条例、その他の要求事項を順守し、環境保護に取り組みます。
- (3) 事業活動において、扱う廃棄物の100%資源化を目指します。
- (4) 業務全般において省エネルギー及び地球温暖化物質などの排出削減に努め、汚染の予防を推進します。
- (5) 環境教育を通して社員の環境意識の向上を図り、全員が環境活動に取り組みます。

※環境方針は文書化し全社員に周知徹底するとともに、定期的に見直すと同時にホームページ等により社外に広く公開します。

2010年8月1日

株式会社アサヒリソース

代表取締役

藤田 幸男



## 環境目標

平成 22 年 CO<sub>2</sub> 総排出量：98.3t

今後 5 年間の目標数値を平成 22 年 1 月から 12 月までの総排出量より 5%(毎年 1%)削減値とする。

		目標値(総排出量)						
		基準値 (平成22年 総排出量)	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	
二 酸 化 炭 素	電力(一般)(kwh)	8,747	8,659	8,572	8,487	8,402	8,318	
	電力(動力)(kwh)	194	192	190	188	186	184	
	灯油(ℓ)	4,739	4,691	4,644	4,598	4,552	4,506	
	収集運搬にお いて環境に配 慮した項目	ガソリン(ℓ)	5,016	4,965	4,916	4,867	4,818	4,770
		軽油(ℓ)	27,066	26,795	26,527	26,262	25,999	25,739
二酸化炭素(kgCO <sub>2</sub> )		98,335	97,549	96,574	95,608	94,652	93,705	
水	上水	73	72	72	71	70	69	
資 源	購入品の削減	再生紙	—	—	再生紙使用 率 70%	再生紙使用 率 100%	前年比2%削減	前年比2%削減
	グリーン購入の推進		—	—	購入の推進	購入の推進	購入の推進	購入の推進
廃 棄 物	ゴミ削減(kg)		—	—	削減計画作成	新規計測開始	前年比削減 目標設定	前年比削減 目標設定

※購入電力の排出係数 0.000425 t-co<sub>2</sub>/kwh(平成 19 年実績)  
原油換算 0.0000258 kl/mj

## 環境活動計画

		活動計画	担当	日程	
二酸化炭素	電力(一般)(kwh)	事務所エアコンの温度設定(冷房28±1℃、暖房20±1℃)の徹底	小野	随時	
	電力(動力)(kwh)	アルミ熔鉱炉のデータ把握・評価指標の検討、設定	宮川	随時	
	灯油(ℓ)	アルミ熔鉱炉のデータ把握・評価指標の検討、設定	宮川	随時	
	収集運搬において環境に配慮した項目	ガソリン(ℓ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月各車両の燃費データを報告、目標値を設定</li> <li>各自車両の燃費向上方法を習得する</li> <li>年1回エコ安全運転講習会の開催</li> </ul>	宮川	随時
		軽油(ℓ)			随時
二酸化炭素(kgCO <sub>2</sub> )		上記活動で削減	—	—	
水	上水	節水意識の再確認、蛇口等の水漏れ点検	宮川	随時	
資源	購入品の削減	再生紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>両面印刷及び縮小印刷等の有効利用</li> <li>使用済み紙は自社リサイクルルートへ</li> <li>メール利用率のアップ</li> </ul>	小野	随時
	グリーン購入の推進				
廃棄物	ゴミ削減(kg)		<ul style="list-style-type: none"> <li>自社で発生した廃棄物の分別徹底の再確認をし自社リサイクルルートへ</li> <li>容器等は洗浄乾燥させ、自社リサイクルルートへ</li> <li>個人で持ち込んだ廃棄物は各自で持ち帰る</li> </ul>	宮川	随時

## 環境目標の実績

2010年1月から2010年12月までの同時期と比較して目標の1%削減が達成できた場合には○、目標の1%削減が出来なかった場合または環境活動計画で設定した目標を達成できなかった場合には×

		基準値 (平成22年総排出量)	平成23年目標	平成23年実績	結果	
二酸化炭素	電力(一般)(kwh)	8,747	8,659	6,903	○	
	電力(動力)(kwh)	194	192	424	×	
	灯油(ℓ)	4,739	4,691	5,298	×	
	収集運搬において環境に配慮した項目	ガソリン(ℓ)	5,016	4,965	3,050	○
		軽油(ℓ)	27,066	26,795	22,543	○
	二酸化炭素(kgCO <sub>2</sub> )	98,335	97,549	74,439	○	
水	上水	73	72	65	○	
資源	購入品の削減	再生紙			—	
	グリーン購入の推進				—	
廃棄物	ゴミ削減(kg)				—	

## 環境活動計画の取組結果とその評価

### 1. 2011年1月から12月までの評価

エコアクション21の取組み初年度につき社員の意識の徹底に重点が置かれ、実施要綱の不徹底さが目立ち、また、3.11東北大地震は収集運搬業中心の弊社にとり、燃料の調達、走行ルート確保等のため業務優先となり、エコアクション21の結果に少なからず影響を与えました。

- ・電力の一般使用量は目標値を20.2%下回り効果が見えました。
- ・動力及び灯油はアルミ溶解量の増加に伴う使用量の増加ですが、適性増加であるかの判断には及ばず、今後のデータ収集等の課題となりました。
- ・自動車燃料は、エコドライブの励行が習慣づけられ、効果が出てきました。
- ・水の使用量は、節水ゴマ使用の効果が出てきましたが、人的効果を加えるとよりいっそうの削減が期待されます。
- ・再生紙、グリーン購入についてはデータ把握の徹底にとどまり、削減推進まで至らず、次年度の課題とします。
- ・ゴミの削減については、弊社は業種から100%リサイクルを念頭に置いていますが、データの把握に至っておらず、次年度より取組を検討致します。

2. 次年度(2012年1月から12月まで)の取組内容

		平成24年目標	活動内容	
二酸化炭素	電力(一般)(kwh)	8,572	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退室時消灯の徹底</li> <li>・エアコンの温度調整</li> <li>・クールビズの推進</li> </ul>	
	電力(動力)(kwh)	190	データ計測による適性消費電力の把握	
	灯油(ℓ)	4,644	データ計測による適性消費灯油の把握(溶解時)	
	収集運搬において環境に配慮した項目	ガソリン(ℓ)	4,916	アイドリングストップの推進
		軽油(ℓ)	26,527	アイドリングストップの推進
二酸化炭素(kgCO <sub>2</sub> )		96,574		
水	上水	72	洗車時水使用の工夫	
資源	購入品の削減	再生紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面コピーの励行</li> <li>・再生紙の100%使用の推進</li> </ul>	
	グリーン購入の推進		エコマーク商品購入の推進	
廃棄物	ゴミ削減(kg)		環境会議において削減できるごみの把握	

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

見直し・改訂時 承認	作成	遵守確認・評価 承認	評価
			

(株)アサヒリソース環境関連法規一覧

作成23年5月30日

見直し改定日24年3月30日

遵守状況24年3月30日

主な法規制	法律の内容	当社該当事項	管理部署 責任者	遵守状況確 認評価結果
廃棄物処理法	自社発生廃棄物	自らの責任において処理する	藤田	○
	産業廃棄物収集運搬業	業許可申請・許可の更新期間5年	安藤	○
	一般廃棄物収集運搬業	業許可申請・許可の更新期間2年	安藤	○
	産業廃棄物管理票	保存期間5年	安藤	○
振動規制法・ 騒音規制法	指定地域内の工場等における事業活動や建設工事に伴う騒音(振動)を規制するため、騒音(振動)を発生させる特定施設の事前届出や建設作業の事前届出、規制基準の遵守等を定めている。	法の指定する指定地域内に当たらないため該当しない。	安藤	—
都道府県条例 NOx法	自動車の排気ガス中のNox及びPMの排出を抑制するため、対策地域内における一定規模以上の車両を使用する事業者のNox・PM排出抑制計画作成・提出、車種規制などを定めている。	該当なし	安藤	—
消防法	危険物の取扱・危険物保管施設等に関することを定めている。	アルミ熔解炉の設置許可申請	宮川	○
		少量危険物取扱従事者の有無	宮川	○
家電リサイクル法	家電廃棄物の収集、再商品化を推進するため、家電の製造業者・輸入業者、小売業者、消費者の義務等を定めている。	リサイクル券の3年間保管義務	安藤	○



## 法改定時見直しすべき法規一覧

主な法規制	法律の内容	当社該当事項
容器包装リサイクル法	容器包装廃棄物の分別収集及び再商品化を促進するため、市町村による分別収集、適用事業者(容器包装利用業者、製造事業者)による再商品化の実施等を定めている。	<b>現在弊社に直接影響を及ぼさないが、 今後推移を見守る必要がある法規</b>
グリーン購入法	国等が環境への負荷が少ない環境物品の調達を推進するため、国等が環境物品の調達の責務を持ち、調達実績の概要報告等を定めている。	
地球温暖化対策推進法	京都議定書目標達成計画の策定及び温室効果ガスの排出抑制を促進するため、一定量以上の温室効果ガスの排出者による排出量の定期報告(毎年)等を定めている。	
環境基本法	日本の環境政策の根幹を定める法。	
大気汚染防止法	工場等の事業活動や建物の解体にともなう煤煙、揮発性有機化合物、特定粉塵(石綿)および粉塵の排出を規制するため、大気汚染の原因となる施設の事前届出、吹付け石綿等を使用している建物の解体作業の事前届出、排出基準の遵守及び測定義務等を定めている。	
水質汚濁防止法	工場等から公共用水域に排出される水の排出及び地下に浸透する水の浸透を規制するため、水質汚濁の原因となる特定施設の事前届出、排出基準の遵守及び測定義務等を定めている。	
悪臭防止法	工場等における事業活動にともなって発生する悪臭を規制するため、アンモニア等の悪臭原因物質の規制基準の遵守、野焼きの禁止等を定めている。	
土壌汚染対策法	特定の有害物質を取り扱っていた工場跡地等における土壌汚染状況の調査、原状回復等について定めている。	
省エネルギー法	工場、輸送、建築物及び機械器具等のエネルギーの使用の合理化を図るため、一定量以上のエネルギーを使用する事業者及び一定規模以上の輸送業者・荷主に対して、エネルギー使用状況の届出・中長期計画の提出、一定規模以上の建築物に対する省エネ措置、エネルギーを消費する機器へのトップランナー方式の導入を定めている。	
新エネルギー法	新エネルギー(石油代替エネルギー)利用を促進するため、太陽光発電、風力発電、バイオマス発電、廃棄物発電等を新エネルギーと位置づけ、新エネルギー利用促進に関する基本方針の策定、事業者の新エネルギー利用計画の認識等を定めている。	
オゾン層保護法	ウィーン条約の的確かつ円滑な実施を図るため、特定フロン等の特定物質の製造許可、特定物質の輸出時の届出、輸入時の承認、特定物質の排出抑制・使用合理化の努力義務等を定めている。	

チェック項目	法・条例規制の新設/更新情報及び動向の把握と自社事業への影響の有無・大小判断
フォロー事項	上記チェックの結果を踏まえ、必要に応じて詳細を調査、対応策検討・実施

## 違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反及び訴訟は、設立から現在までありません。

## 外部からの苦情等の受付

現在までに排出事業者やお客様、その他第三者等からの苦情等は発生しておりません。収集運搬にあたり、近隣の皆様に騒音等で迷惑が掛からないように配慮しております。また、廃棄物の種類や量等がマニフェストと相違がないかチェックし、また運搬中に廃棄物の飛散流出等を起こさない方法で収集運搬に取り組んでいます。

## 化学物質の使用について

化学物質の使用はありません。

平成 24 年 6 月 20 日

担当 安藤哲也

## 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション 2.1 取組み初年度ということもあり、社員の環境への意識向上に重点が置かれ、実施の励行に不安もありましたが、運行日誌の導入などによるデータ取りも日を追うごとにスムーズになり、社員の環境への意識向上が今回の結果に大きく貢献したと思います。社員の皆さまに感謝します。

データ収集の効果は環境への配慮のみにとどまらず、業務の「見える化」にもつながり、会社経営にも大きく貢献したことは、経営者にとり予想外の収穫だと思っています。

次年度は習慣づけられたデータ把握をより一層有効に使い、削減目標をクリアしていきたいと思っています。また、データの収集が出来ていないごみ削減等については、環境会議の中で必要なデータの把握等検討してまいりたいと思っています。

次回の環境活動レポートは 2013 年 3 月 31 日頃の発行を予定しています。

2012 年 6 月 20 日

代表取締役 藤田幸男